

蓮田都市計画下水道（白岡市）の事業計画変更認可申請書

下第 号

平成 年 月 日

埼玉県知事 上 田 清 司 様

白 岡 市

上記代表者 白岡市長 小 島 卓

都市計画法第63条第1項の認可を受けたいので下記により申請します。

蓮田都市計画下水道（白岡市）の事業計画変更認可申請書

下第 号
平成 年 月 日

埼玉県中川下水道事務所長様

白 岡 市

上記代表者 白岡市長 小 島 卓

別冊のとおり提出いたしますのでよろしくお願いいたします。

蓮田都市計画下水道（白岡市）の事業計画変更認可申請書

下第 号
平成 年 月 日

埼玉県杉戸県土整備事務所長

白 岡 市

上記代表者 白岡市長 小 島 卓

別冊のとおり提出いたしますのでよろしくお願いいたします。

記

- | | |
|------------------|--------------------|
| 1. 施行者の名称 | 白岡市 |
| 2. 都市計画事業の種類及び名称 | 蓮田都市計画下水道事業白岡公共下水道 |
| 3. 事業計画 | |

イ 事業計画	別添図面表示のとおり
--------	------------

汚 水

(1) 収用の部分	変更なし
-----------	------

(2) 使用の部分	変更なし
-----------	------

雨 水

(1) 収用の部分	変更なし
-----------	------

(2) 使用の部分	変更なし
-----------	------

ロ 設計の概要	別添設計の概要を表示する図書のとおり
---------	--------------------

ハ 事業施行期間	昭和50年11月 4日 から
----------	----------------

平成28年3月31日

平成33年3月31日まで

(汚 水)

予定処理区域及び流域下水道との接続箇所調書					
処 理 区 域 の 面 積		5 5 8 ヘクタール		白 岡 市 区域は事業地を表示する 図面のとおり	
処 理 分 区 の 名 称	面 積 (h a)	流域下水道との 接続箇所の番号	流域下水道との 接続箇所の位置	接 続 す る 流 域 下水道の幹線名	摘 要
白岡第1処理分区	428	白 岡 1-2	大字実ヶ谷 字西ノ谷	中川流域下水道 白 岡 幹 線	日平均 10,270㎥/日 日平均 9,670㎥/日 B O D 204ppm B O D 213ppm S S 180ppm S S 187ppm
白岡第2処理分区	130	白 岡 1-1	大字千駄野 字下手	中川流域下水道 白 岡 幹 線	日平均 2,200㎥/日 日平均 2,160㎥/日 B O D 188ppm S S 147ppm S S 148ppm

(雨 水)

予 定 排 水 区 域 及 び 放 流 箇 所 調 書				
排 水 区 域 の 面 積		4 9 0ヘクタール	排水区域内の地名	白 岡 町 区域は事業地を表示する図面のとおり
排 水 区 の 名 称	面 積 (h a)	放 流 箇 所 の 位 置	放 流 先 の 名 称	摘 要
白 岡 第 一 排 水 区	8 1	大字小久喜字下野谷	三ヶ村落堀	
白岡第一ノ二排水区	1 5	大 字 千 駄 野 字 迎	三ヶ村落堀	
白岡第一ノ三排水区	3 2	大字小久喜字下沼	埜 地 落	
白岡第一ノ四排水区	4	大字小久喜字下沼	三ヶ村落堀	
白岡第二ノ一排水区	1 2	大 字 小 久 喜 字 星	隼 人 堀 川	
白岡第二ノ二排水区	3 2	大字下野田字日川宮市	隼 人 堀 川	
白 岡 第 三 排 水 区	3 6	大字小久喜字土橋	隼 人 堀 川	
白 岡 第 四 排 水 区	1 7	大 字 篠 津 字 下 田	隼 人 堀 川	
白岡第九ノ一排水区	8 8	西 二 丁 目	元 荒 川	
白岡第九ノ二排水区	2 6	大 字 篠 津 字 宿	隼 人 堀 川	
白 岡 第 十 排 水 区	3 6	西 一 丁 目	磯川第2水路	
白岡第十五排水区	1 8	大字野牛字中ノ宮	姫 宮 落 川	
白岡第十六排水区	2 3	大字野牛字蓮河原	姫 宮 落 川	
白岡第十七排水区	7	大字野牛字蓮河原	姫 宮 落 川	
白岡第十八排水区	6	大字高岩字上駒形、 字駒形	姫 宮 落 川	
白岡第二十一排水区	1 9	大 字 高 岩 字 野 中	備 前 堀 川	
白岡第二十二排水区	4 0	新 白 岡 三 丁 目	姫 宮 落 川	

管 渠 調 書				
処理区の名称	主要な管渠の内のり寸法 (単位 ミリメートル)	延 長 (単位 メートル)	点検箇所の数	摘 要
白岡第1処理分区	◎1200	1, 120		
総 計		1, 120		

ポ ン プ 施 設 調 書					
ポンプ施設の名称	処理分区の名称	ポンプ施設の位置	敷 地 面 積 (単位 アール)	1分間の揚水量 晴 天 時 最 大	摘 要
第2中継ポンプ場	白岡第1処理分区	大字白岡字田向	3. 3	5.9m ³ /min	汚 水
第3中継ポンプ場	白岡第1処理分区	西 四 丁 目	2. 7	3.1m ³ /min	汚 水
第4中継ポンプ場	白岡第2処理分区	大字千駄野字下手	8. 4	4.5m ³ /min	汚 水
大 柳 ポ ン プ 場	白岡第九ノ一排水区	西 二 丁 目	3. 3	117.1m ³ /min	雨 水

ポンプ施設の敷地内の主要な施設					
ポンプ施設の名称	主要な施設の名称	数	構造	能力	摘 要
第2中継ポンプ場	流入ゲート	2門	角形 350mm		
	スライトスクリーン付 防護柵	1台	スクリーン水路幅 0.8m		
	破碎機	2台	昇降装置付立形 二軸差動回転式	2.97m ³ /min×3.7kw	全体計画 2台中2台 事業計画
	流出ゲート	2門	角形 350mm		
	汚水ポンプ	4台	水中ポンプφ150	1.98m ³ /min×12.9m×11kw	全体計画 4台中4台 事業計画 内1台予備
	脱臭設備	1式	活性炭吸着塔 (カートリッジ式)	16m ³ /min	
	電気設備	1式			
	自家発電設備	1式		125kVAディーゼル発電	
	建築設備	1棟	鉄筋コンクリート造		

ポンプ施設の敷地内の主要な施設					
ポンプ施設の名称	主要な施設の名称	数	構造	能力	摘 要
第3中継ポンプ場	緊急遮断ゲート	1 台	角形 700mm	電動機 0.4kw	
	粗目スクリーン	2 台	スクリーン水路 幅 1.0m	目幅 100mm	
	揚砂ポンプ	1 台	揚砂用水中ポンプ	0.3m ³ /min×13m×3.7kw	
	破砕機	1 台	二軸差動縦置型	6.4 m ³ /min×3.7kw 既設	
	汚水ポンプ	2 台	水中ポンプφ200	3.21m ³ /min×16.1m ×15kw 既設	全体計画 2台中2台 事業計画 内1台予備
	脱臭設備	1 式	活性炭吸着式	30m ³ /min	
	電気設備	1 式			
	自家発電設備	1 式		85kVAディーゼル発電	
	建築設備	1 棟	鉄筋コンクリート造		

ポンプ施設の敷地内の主要な施設					
ポンプ施設の名称	主要な施設の名称	数	構 造	能 力	摘 要
第4中継ポンプ場	緊急遮断ゲート	2門	角形 800mm	電動機 0.5kw	
	粗目スクリーン	2台	スクリーン水路 幅 1.5m	目幅 20mm	
	沈 砂 池	2池	幅 1.5m×長 5.0m ×深 1.1m		
	破 碎 機	4台	二軸差動縦置型	7.0m ³ /min×3.7kw	
	汚水ポンプ	3台	水中ポンプφ250	7.0m ³ /min×8.6m×18.5kw	全体計画 3台中3台 事業計画 内1台予備
	揚砂ポンプ	1台	揚砂用水中ポンプ	0.45m ³ /min×15m×3.7kw	
	脱臭設備	1式	活性炭吸着式	20m ³ /min	
	電気設備	1式			
	自家発電設備	1式		150kVAディーゼル発電	
	建築設備	1棟	鉄筋コンクリート造		

ポンプ施設の敷地内の主要な施設					
ポンプ施設の名称	主要な施設の名称	数	構 造	能 力	摘 要
大柳ポンプ場	細目スクリーン	1台	除塵機	幅40mm	
	雨水ポンプ	2台	水中モーターポンプ φ700	117.1m ³ /min×1.5m×75kw	
	電気設備	1式	高圧受電・制御盤等		
	建築設備	1棟	鉄骨・鉄筋コンクリート	電気室・管理室	

資金計画

(単位：千円)

年次	イ. 経費の部							合 計	
	建設改良費				起債元利 償還費	維持 管理費	その他		
	管 渠	ポンプ場	処理場	計					うち用地費
昭和50年～ 平成26年	23,149,358	3,059,432	0	24,095,631	125,052	11,149,237	2,346,155	915,479	40,619,661
小 計	20,814,985	2,749,209		23,564,194	125,052	11,143,807	2,406,468	423,515	37,537,984
平成 27年	796,720	310,222	0	1,106,942	—	567,938	121,288	100,972	1,925,253
	289,487	—		289,487	—	601,528	173,733	87	1,064,835
	—	—		—	—	—	—	—	—
平成 28年	598,790			598,790	—	569,809	142,500	2,628	1,313,727
	—	—		—	—	—	—	—	—
平成 29年	598,790			598,790	—	569,809	142,500	2,628	1,313,727
	—	—		—	—	—	—	—	—
平成 30年	598,790			598,790	—	569,809	142,500	2,628	1,313,727
	—	—		—	—	—	—	—	—
平成 31年	598,789	310,223		909,012	—	569,809	142,500	2,628	1,623,949
	—	—		—	—	—	—	—	—
平成 32年	598,789	310,222		909,011	—	569,809	142,500	2,628	1,623,948
	824,833	310,222	0	1,106,942	—	567,938	121,288	100,972	1,925,253
小 計	3,283,435	620,445		3,903,880	0	3,450,573	886,233	13,227	8,253,913
	23,974,191	3,369,654	0	25,202,573	125,052	11,717,175	2,467,443	1,016,451	42,544,914
合 計	24,098,420	3,369,654		27,468,074	125,052	14,594,380	3,292,701	436,742	45,791,897

記載要領

1. 流域関連公共下水道は、「建設改良費」の欄に建設費負担金、「維持管理費」の欄に管理運営費負担金を含む。
2. 「起債元利償還費」の欄には、企業債取扱諸費を含む。

資金計画

(単位：千円)

年次	口・財源の部										合 計	
	建設改良費					維持管理及び起債元利償還費						
	国費	起債	他会計繰入金	受益者負担金	都市計画税	その他	計	下水道使用料	他会計繰入金	その他		計
昭和50年～平成26年	6,456,103	11,706,247	3,109,557	1,938,642	830,468	54,614	24,095,631	4,160,008	12,358,325	5,697	16,524,030	40,619,661
小 計	5,064,297	10,554,990	3,412,730	1,785,825	720,918	54,874	23,564,194	4,184,055	9,782,149	7,586	13,973,790	37,537,984
平成 27年	525,142	471,106	0	55,347	55,347	—	1,106,942	259,951	558,358	2	818,311	1,925,253
平成 28年	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
平成 29年	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
平成 30年	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
平成 31年	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
平成 32年	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
小 計	1,721,400	2,012,993	56,952	85,505	27,030	0	3,903,880	1,966,640	2,383,362	31	4,350,033	8,253,913
合 計	6,981,245	12,177,353	3,109,557	1,993,989	885,815	54,614	25,202,573	4,419,959	12,916,683	5,699	17,342,341	42,544,914
接続率：94.0% (27年度：初年度) → 94.5% (32年度：最終年度) 講じる対策：広報誌等広報活動により未接続世帯に対し下水道接続の啓発を行う。												
有収率：93.3% (27年度：初年度) → 93.3% (32年度：最終年度) 講じる対策：下水道接続確認検査により誤接続等を確認することで不排水の浸入を防ぐ。												
下水道使用料※関連事項 その他の講じる対策：平成27年度に使用料を改定したが、今後も引き続き社会情勢等を勘案しつつ段階的に使用料の見直しを実施し適正な使用料を維持する。												

記載要領

1. 「建設改良費」の「その他」の欄には、工事費負担金、都道府県補助金等を記載する。なお、流域下水道は建設費負担金を含んで記載する。
2. 「起債元利償還費」の欄には、企業債取扱諸費を含む。
3. 下水道使用料については、最新の有収水量の動向、国立社会保障・人口問題研究所等による人口・世帯数の見直し、企業立地の見直し等を踏まえた上で算定すること。
4. 「下水道使用料※関連事項」の講じる対策の記載にあたっては、「下水道経営改善ガイドライン（平成26年6月、国土交通省・（公社）日本下水道協会）」等も必要に応じ参照すること。
5. 「下水道使用料※関連事項」の「その他の講じる対策」の欄には、例えば、下水道使用料の見直し検討や徴収対策の取組について記載する。

理 由

本市の公共下水道は昭和50年に事業認可を受け、その完遂に鋭意努力中であります。

今回の事業計画の変更は、地域開発、道路開発、区画整理等の滞りや、市町の財政状況の影響による下水道未整備区域の事業推進をはかるため、また上位計画である中川流域下水道の変更新次にあわせ平成27年度から平成32年度に変更します。

都市計画法事業認可（変更）資料

名称：蓮田都市計画(白岡市)下水道事業

都市名：白岡市

都市計画法事業認可	項目		排水面積	排水人口	排水量	処理場	ポンプ場	管渠	行政人口（現在）(A)		行政面積（A'）	2,492ha	実施状況 (当該年度を含む)
	合流	分	ha	人	m ³ /日	ha	箇所	m	行政人口（最終）	処理人口（全体）	処理面積（全体）	1,072ha	
都市計画法事業認可	既認可	分流汚水	558	30,270	15,190		3	1,120		45,400人	処理面積（全体）	628ha	
		計	558	30,270	15,190		3	1,120		34,600人	計画決定面積	558ha	
		分流雨水	490		53.024m ³ /s		1			31,700人	下水道法事業計画面積	558ha	
変更	合流									29,610人	都市計画法認可面積	477.91ha	
	分流汚水	558	29,610	14,500			3	1,120		29,610人	整備面積（B'）	477.91ha	
	計	558	29,610	14,500			3	1,120		33,514人	処理面積（C'）	477.91ha	
増減	分流雨水	490		53.024m ³ /s			1			33,514人	整備率（B'）/（A'）	19.2%	
	合流									水洗化人口（D）	普及率（C'）/（A'）	19.2%	
	分流汚水			-660	-690					整備率（B）/（A）	処理水量（全体）(m ³ /日)	24,700	
下水道法事業計画	計			-660	-690					普及率（C）/（A）	処理水量（現在）		
	分流雨水				0m ³ /s					水洗化率（D）/（A）	処理能力水量（現在）		
	合流	558	29,610	14,500			3	15,490		排水面積（全体）	都市計画法認可面積	490ha	変更内容 汚水 ・事業施行期間を平成27年度（平成28年3月31日）から平成32年度（平成33年3月31日）に延伸する。
計画	計	558	29,610	14,500			3	15,490		計画決定面積	整備面積（B''）	277ha	
	分流雨水	490		53.024m ³ /s			1	10,080		下水道法事業計画面積	整備率（B''）/（A'）	11.1%	
	区	名	称	承認年月日	認可番号	告示年月日	告示番号						
画	既計画	白岡公共下水道	H23.1.14	指令都市第512号		H23.1.14	埼玉県告示76号						
	変更												
	汚水量	区分	日平均	日最大	時間最大	原単位	360 ¹² /日						
緒	生活排水	10,660	13,330	19,100			450						
	工場排水	1,170	1,170	2,340			645						
	処理場位置												
元	処理方法												変更理由 汚水 ・地域開発、道路開発、区画整理等の滞りや、市町の財政状況の影響による下水道未整備区域の事業推進をはかるため、また上位計画である中川流域下水道の変更新年度に合わせ平成27年度から平成32年度に変更する。
	計画目標	標年次	平成32年度	水質環境基準									
	降雨強度	式	降	雨強度 (mm/hr)	確率年	流出係数							
等	雨水	3885	3360										
		t+18	t+19	49.8	42.6	5年	0.50						
	事業費	管渠	ポンプ	処理場	その他	計	事業施工期間						
(百万円)							昭和50年11月4日						
							～平成33年3月31日						
		24,098.4	3,369.7	—	—	27,468.1							

整備状況は、平成27年3月末で記入

※排水量は日最大